

## 地域で進めるコーディネータの相互連携

### 経済局と一体となつてのネットワークづくり

産学官連携コーディネータ（九州センター） 安田 誠二

九州センターでは、九州産学官連携センターの拠点を福岡市（福岡サイト）に構え、九州経済産業局と一体となり、大学や企業、産業技術支援機関と協力して産学官連携活動を進めています。ここでは九州経済産業局と連携して産学官連携コーディネータが中心となって進めている「産学官連携活動のネットワークづくり」の一端を紹介します。

#### 福岡サイトを中心とした連携活動

九州地域における産学官連携気運の高まりの中、九州経済産業局の指導の下、実効性・継続性のある産学官連携の実現と、九州全域を網羅した広域連携組織の活動拠点として、2002年4月、福岡市に「九州地域産学官交流センター」が設立されました。ここでの交流イメージを図1に示します。交流センターでは福岡サイトと九州経済産業局産学官連携推進室が一体となって相互に連携を取りながら、次のような3つの主要事業を展開しています。①九州地域の大学や自治体、産業技術支援機関の産学官連携の総合力を発揮する為の総合戦略策定、②シーズ紹介、技術移転、資金調達まで含めた総合的ワンストップサービス及び広域コーディネート、③多様な交流の場の提供。

#### ●九州地域新産業・産学官連携コーディネーター等一覧

九州地域の中小企業からの事業化の目利き人材の相談に対応するた

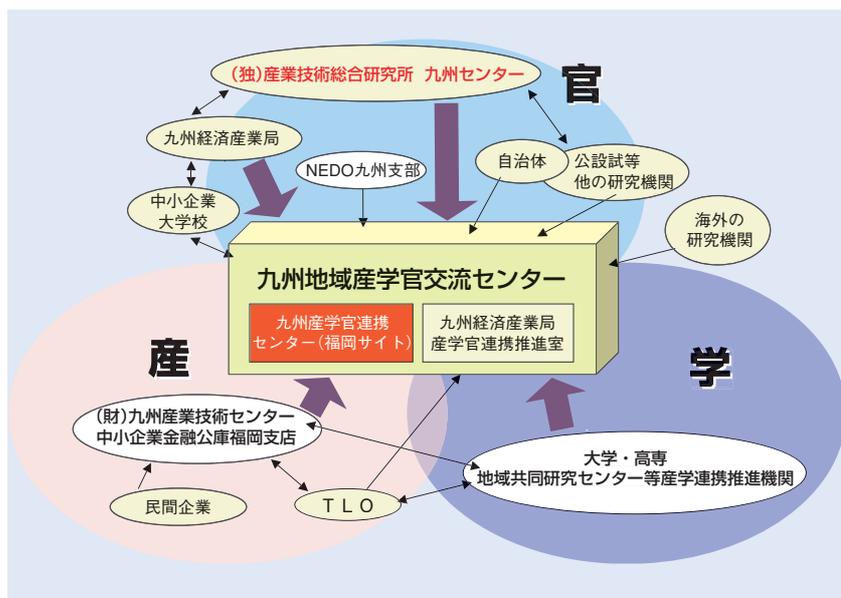


図1 九州地域産学官交流センターでの交流

め、交流センターでは九州の各機関で活動中の250名を超えるコーディネータを紹介する「九州地域新産業・産学官連携コーディネーター等一覧」(図2)を作成し目利き人材探しに利用されます。

この一覧を利用したコーディネータからの相談で九州センターでは対応できず、産総研の他の研究ユニットに取り次いだものに、「光触媒」、「爆発実証テスト」、「噴気地質図」、「製品寿命の計測」、「新規粘土鉱物」などがあります。また、九州センターの研究成果の技術移転について、コーディネータが企業を同伴して共同研究の相談に来訪されたり、提案公募型プロジェクトへの応募のマッチングを図った事例などがあります。このようにコーディネータ間の相互連携によるマッチング成功事例も出て来つつあります。

#### ●ニーズ対応型産学官連携事業

最近の交流センターの新たな試みとして、産学官連携のニーズ把握の段階で金融機関と連携した「ニーズ対応型産学官連携事業」があります。この事業は中小企業金融公庫が取引先の中小企業のニーズを定期的に調査・把握して交流センターに持

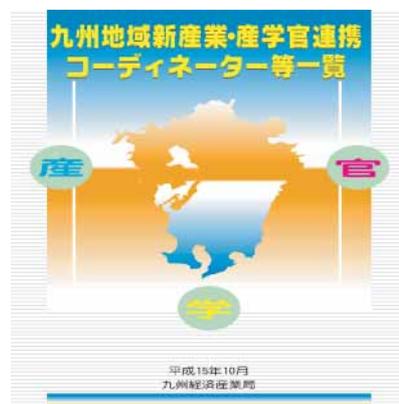


図2 九州地域新産業・産学官連携コーディネーター等一覧の表紙

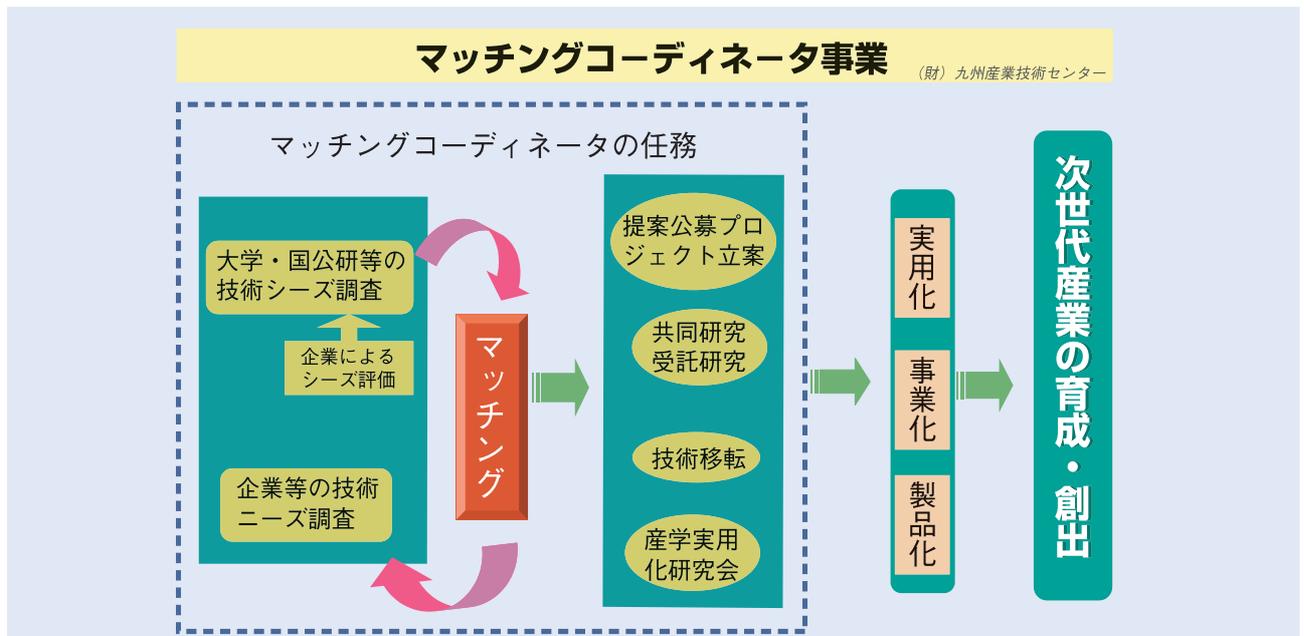


図3 マッチングコーディネータ事業の概要

ち込み、大学や産総研研究者とともに企業を訪問して問題を解決するものです。これまで金融機関は企業に対して販売などの出口で支援してきましたが、この事業は産学官連携の入口から支援するもので、新たな融資に向けた環境が整備されるものと期待されています。福岡サイトも本事業に積極的に関わってヒアリングなどに同行し、中小企業が求める技術課題を調査しております。また、企業秘密とされている中小企業のニーズを的確に把握するためNEDO事業の紹介やつくばの研究ユニットに取り次ぐなどの取り組みを行っています。現在は福岡支店の取引先を中心に進めていますが、これを九州各県の中小企業金融公庫支店に拡大した「九州モデル」の構築を目指しています。

#### ●産学官交流研究会

多様な交流の場を提供する目的で、交流センターの設立当初から毎月第2金曜日に各界の著名な講師を招いて研究シーズや技術移転の成功事例などを紹介する「産学官交流研究会(二金会)」を開催しています。最近では、広範囲の分野から毎回50名を超える参加者があり、その約8

割が民間企業からの参加者で、人的ネットワークの構築に非常に役立っています。九州センターの産学官連携コーディネータが主宰を務めています。

#### ●マッチングコーディネータ活動

九州センターや九州経済産業局が相互に協力して支援している(財)九州産業技術センターの「マッチングコーディネータ事業」について紹介します(図3)。この事業は1997年度から始まったもので、現在は九州全域の大学の産学官連携部門、民間企業、自治体の産業技術支援機関、公的研究機関などの出身者及び現役から18名のマッチングコーディネータが任命され、技術シーズの発掘、企業ニーズ調査、産業実用化研究会の立ち上げ、プロジェクト立案などのマッチング活動を行っています。これまでに584件の技術シーズを発掘・評価し、154件のマッチングに成功し、提案公募型プロジェクトへの応募・採択、共同研究、製品化・事業化に発展しています。

九州センターの成果の最近のマッチング成功事例として、地域新生コ

ンソーシアム事業での「医療・環境分析用マイクロフローチップの開発」(15年度)や「マイクロ化学プラントを用いた焼酎蒸留残さの有効利用技術開発」(14年度)などの採択があり、共同研究(15年度)では「半金属の新規分離材の開発と応用に関する研究」(K社)や「窒化アルミニウム圧電薄膜材料に関する研究」(D社)などがあります。

このように地域センター単独ではコーディネート活動の範囲が限られますが、地域経済局と一体となって、地域の他の機関とのネットワークをうまく活用することによって、技術移転の可能性が大きく広がるものと期待しています。

#### お問い合わせ

九州産学官連携センター福岡サイト  
〒810-0022  
福岡市中央区薬院 4-4-20  
● TEL : 092-524-9047  
● FAX : 092-524-9010

産学官連携コーディネータ 安田  
〒841-0052  
鳥栖市宿町 807-1  
産業技術総合研究所  
九州センター  
● TEL : 0942-81-3618  
● FAX : 0942-81-3690  
● E-mail seiji-yasuda@aist.go.jp